

令和 7 年度事業報告書

社会福祉法人ともかわさき

目次

令和7年度総括 法人の事業運営について.....	3
重点項目.....	3
(1) 財務基盤の安定.....	3
(2) 人材の確保と育成・活用.....	3
(3) 事業所の整備・施設補修・再編適正化.....	3
(4) 事業所等再編.....	2
(5) 地域との連携・交流.....	4
法人運営.....	5
(1) コンプライアンスの強化と管理体制の確立.....	5
(2) 権利擁護の推進.....	5
(3) 労務管理.....	5
評議員会・理事会.....	5
(1) 評議員会.....	5
(2) 理事会.....	6
(3) 評議員選任・解任委員会.....	7
監査等の状況.....	7
(1) 法人監事監査.....	7
(2) 法人指導面談.....	7
諸会議.....	8
職員研修.....	9
事業別項目.....	10
＜通所サービス部門＞.....	10
(1) 生活介護事業.....	10
(2) 給食（配食）サービス事業.....	18
＜地域生活支援部門＞.....	18
(1) 短期入所事業.....	18
(2) 相談支援事業.....	20
(3) 地域生活支援事業.....	21
(4) 障害者生活支援・地域交流事業.....	23
＜居住支援部門＞.....	25
(1) 共同生活援助事業.....	25
(2) 福祉ホーム（指定管理事業）.....	27
＜法人事務部門＞.....	27
(1) 法人本部事業.....	28
(2) 地域福祉施設管理事業（市管理運営委託）.....	28
(3) 地域福祉活動援助事業.....	28
(4) 団体等補助・支援事業.....	29
(5) 法人の地域における公益的取組.....	28
参考資料.....	30
付属明細書.....	30

令和7年度総括 法人の事業運営について

社会福祉法人としての法人の理念に基づく事業運営については、法令遵守を図り、各事業所が主導しつつ法人本部と連携し川崎市の主に知的障害福祉サービスを提供し続けることができた。

福祉サービス提供の根幹である権利擁護の推進のための虐待防止委員会活動などコンプライアンスの徹底と職員の意識向上を図った。

職員は法人の財産と考え、適正な労務管理と労働環境の整備に努め、法人職員の年間収入の向上を図るため令和7年度も賞与支給率の加算などに取り組んだ。

重点項目

令和7年度の重点項目については、以下のとおり取り組んだ。

(1) 財務基盤の安定

法人財務については、諸経費の高騰による支出増加に対して、給付収入の確保、人件費の適正化、余裕資金の適切な資金運用など法人の財務基盤の安定を図った。

経営判断の根幹となる財務・請求事務を適切に行うため経理部門の整備を行った。

(2) 人材の確保と育成・活用

人材確保については、年間を通して諸々の求人方法により新卒・中途・経験者採用を行った。

人材の育成については、階層別・職務別の法人内研修や外部研修参加、また職員の外部組織への講師派遣を行った。人材の評価や育成履歴などを適正に活用するシステム化やエルダー制度導入を進めた。

人材の活用については、事業所管理者に主査職の任用を進め、管理者管理職会議への参加などを通じて法人の管理運営を図った。

事業所運営の平準・共有化などについて管理職指導者が巡回・指導を行った。

(3) 事業所の整備

事業所でのサービスの質を維持向上させるため計画的な補修工事を行った。

① 「生活介護事業所ちとせ」

築年数の経過した外壁・屋根の修繕工事、空調装置（エアコン）の更新工事、施設内装の改修工事を行った。

② 「生活介護事業所たちばな」

施設内装の改修工事を行った。

空調装置（エアコン）の更新工事を行った。

③ 「生活介護事業所むぎの穂」

空調装置（エアコン）の更新工事を行った。

④ 「生活介護事業所なしの実」

空調装置（エアコン）の更新工事を行った。

(4) 事業所等再編

⑤ 川崎市三田福祉ホーム

平成18年度から4期行ってきた指定管理業務が終了した。令和8年3月。

⑥ 共同生活援助事業

グループホーム「なかのしま3」「なかのしま4」「なかのしま5」「なかのしま6」は棟ごとに性別を合わせることで利用者への支援向上を図った。令和7年5月。

法人のグループホーム事業運営事務所を三田福祉ホームから中野島4丁目の仮事務所に移転した。令和8年3月。

⑦ 地域相談支援センター「ドルチェ」

川崎市からの相談支援委託事業を返上した。令和8年3月。

⑧ 「どリーむ」

令和6年度をもって廃止した「どリーむ」の建物解体及び土地返還について川崎市と協議を進めた。

(5) 地域との連携・交流

なかはら障害福祉施設ひらまの「相談交流ひらま」では、毎月定期的に絵画教室「アトリエひらま」を、毎週火曜日にダンス教室「HIRA☆DAN」を、毎週木曜日にボランティア参加の菜園事業を行い、地域との連携交流の機会を継続的に提供した。「生活介護事業所かせやま」では、人形劇ワークショップを開催した。

パラアート活動については、市内法人・事業所から展示作品を公募して「まちかどパラアート展」を幸区夢見ヶ崎動物公園（全国都市緑化フェア春）、高津区洗足学園前空地、多摩区総合庁舎（夏休み！多摩区エコフェスタ）、宮前市民館ギャラリー（みやまえ子育てフェスタ）、中原区NEC玉川ルネッサンスシティ（かわさきSDGsパートナーまつり）、中原区役所前庭で開催した。

「なかはら障害福祉施設ひらま」では、拠点施設としてオカリナ教室やホスピタルシアタープロジェクト2025など市内活動団体に会議室・体育室の施設開放を行った。

法人運営

法人運営については、以下のとおり取り組んだ。

(1) コンプライアンスの強化と管理体制の確立

法人事業の運営に関しては、事業所での事業自己点検シート作成による確認、法人本部による事業所への指導面談（内部監査）を8事業所で実施し運営指導を行った。

各報告書の定期的な提出、管理職会議の開催、事務局通信の発行など法人本部による全体の管理体制を継続した。

(2) 権利擁護の推進

利用者の権利擁護、虐待防止などをテーマにした研修を計画に基づき実施した。

利用者の権利擁護、虐待防止などのため虐待防止委員会を定期的を開催するとともに、事業所職員にセルフチェックを行うなど意識向上を図った。

また、毎年10月の権利擁護月間には各事業所で独自の取り組みと研修を行った。

(3) 労務管理

就業管理システムにより勤務状況を把握することで適正な労務管理を行い、また業務のシステム化を図り、残業削減など職員が働きやすい業務体制の構築に努めた。

職員は法人運営の財産と考え、出産、育児、介護など職員の状況に応じた働き方が可能な労働環境の整備に努めた。

評議員会・理事会

(1) 評議員会

定 数 7～9名

令和7年6月20まで

評 議 員 明石洋子、池田健児、田部井恒雄、富永健太郎、成田すみれ
(8名) 西矢健一郎、藤井礼子、美和とよみ

令和7年6月20日から

評 議 員 明石洋子、池田健児、加藤敦子、田部井恒雄、富永健太郎
(8名) 成田すみれ、藤井礼子、宮脇護

開催状況

第9回定時評議員会

日 時 令和7年6月20日（金）10時～11時25分

場 所 なかはら障害福祉施設ひらま 会議室

議 案 第1号議案 令和6年度決算の件

第2号議案 次期理事・監事選任の件

(2) 理事会

定 数 理事6～8名 監事2名

令和7年6月20まで

理 事 長 桑原賢治

理 事 石戸保夫、堀内昭広、市田慎一、市田直美、中川浩

監 事 星 栄、奥山浩子

令和7年6月20日から

理 事 長 桑原賢治

理 事 峰浩一、堀内昭広、市田慎一、市田直美、中川浩

監 事 星 栄、奥山浩子

開催状況

第120回理事会

日 時 令和7年6月5日（木）10時～10時40分

場 所 なかはら障害福祉施設ひらま 会議室

議 案 第1号議案 令和6年度事業報告の件

第2号議案 令和6年度決算の件

第3号議案 給与及び退職金規程の一部改定の件

第4号議案 経理規程の一部改定の件

第5号議案 定時評議員会の招集及び招集事項の件

第6号議案 時期理事・監事の推薦の件

第121回理事会

日 時 令和7年6月20日（金）11時40分～12時00分

場 所 なかはら障害福祉施設ひらま 会議室

議 案 第1号議案 理事長・常務理事の選任の件

第2号議案 評議員選任・解任委員の選任の件

第3号議案 令和7年度第1次補正予算案の件

第122回理事会 決議の省略で実施

理事会の決議があったとみなされた日

令和7年9月29日

議 案 第1号議案 令和7年度第2次補正予算案の件

第2号議案 就業規則の一部改定の件

第3号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改定の件

第4号議案 給与及び退職金規程の一部改定の件

第5号議案 施設長の任免の件

第123回理事会

日 時 令和7年12月10日（木）9時50分～11時

場 所 なかはら障害福祉施設ひらま 会議室

議 案	第 1 号議案	就業規則の一部改定の件
	第 2 号議案	経理規程の一部改定の件
	第 3 号議案	令和 7 年度第 3 次補正予算案の件
	第 4 号魏案	令和 8 年度のライブラリーわたりだ給食委託業者入札の件
	第 5 号議案	どりーむ解体撤去工事入札の件
	第 6 号議案	生活介護事業所おおしま運営規程の一部改定の件

第 1 2 4 回理事会

日 時	令和 8 年 3 月 2 7 日（金） 1 0 時～ 1 2 時	
場 所	なかはら障害福祉施設ひらま 会議室	
議 案	第 1 号議案	定款細則の一部改定の件
	第 2 号議案	就業規則の一部改定の件
	第 3 号議案	給与及び退職金規程の一部改定の件
	第 4 号議案	経理規程の一部改定の件
	第 5 号議案	役員賠償責任保険の継続加入の件
	第 6 号議案	令和 8 年度事業計画の件
	第 7 号議案	令和 8 年度予算の件
	第 8 号議案	地域相談支援センタードルチェの廃止の件
	第 9 号議案	三田福祉ホーム指定管理終了の件
	第 10 号議案	とも共同生活事業所新築建物の契約の件
	第 11 号議案	会計監査人選定基準の件
	第 12 号議案	会計監査人選定委員会要綱の件
	第 13 号議案	会計監査人選定委員選任の件
	第 14 号議案	内部管理体制の基本方針の件

(3) 評議員選任・解任委員会

第 3 回評議員選任・解任委員会

日 時	令和 7 年 4 月 2 5 日（金） 1 0 時～ 1 0 時 3 0 分	
場 所	なかはら障害福祉施設ひらま 会議室	
議 案	第 1 号議案	評議員選任の件

監査等の状況

(1) 法人監事監査

監事による内部監査 令和 7 年 5 月 2 8 日（水）

(2) 法人指導面談

理事長、事務局長、法人事務局管理職、他事業所管理者が事業所を訪問し、事前提出調書により、事業所役職職員及びサービス管理責任者から運営状況等の報告を受け質疑等を行った。

令和7年11月10日	わたりだ
11月14日	むぎの穂
11月17日	かせやま、ラルゴ、とも移動支援等事業所*
11月21日	短期ひらま、日中一時ひらま、相談交流ひらま
11月25日	ひさすえ
11月28日	たちばな
12月12日	なしの実
12月19日	居住系

諸会議

- ① 事業執行委員会 事業執行委員（理事長及び理事）
4/8, 5/13, 6/5, 7/8, 9/9, 10/7, 11/11, 12/10, 1/13, 2/10, 3/10
- ② 管理職・管理者会議 管理職・事業執行委員・管理者
4/15, 5/20, 6/17, 7/15, 8/15, 9/16, 10/14, 11/18, 12/16, 1/20, 2/17, 3/17
- ③ 主査主任会 主査・主任・担当管理職
全体：7/16（臨時）、2/4 南部：8/4 北中部：8/21, 3/12
- ④ 主査会 主査・担当管理職
全体：8/26 北中部：2/20, 3/12
- ⑤ 主任会 主任・担当管理職
5/8、3/12(北中部)
- ⑥ サービス管理責任者会 サービス管理責任者・担当管理職
全体：6/24, 9/10, 2/6
南部：10/7, 3/6 北中部：5/21, 7/24, 8/25, 10/7, 12/10, 1/16, 3/10
- ⑦ 看護師会 看護師・担当管理職
6/19, 10/9, 2/13
- ⑧ 栄養士会 栄養士・担当管理職
5/9、6/20, 1/23, 3/26
- ⑨ 感染症・食中毒の予防及びまん延防止対策検討委員会 看護師・栄養士・担当管理職
6/19, 10/9, 2/13
- ⑩ 虐待防止委員会
4/23, 5/22, 6/25, 8/27, 10/22, 12/24, 2/25
- ⑪ 人材育成委員会
4/15、5/20、6/17、7/15、9/16、10/14、11/18、12/16、1/20、2/17、3/17
- ⑫ 広報委員会
6/27、11/25, 3/6
- ⑬ 衛生委員会（ひらま）
4/11, 5/9, 6/13, 7/11, 8/8, 9/12, 10/10, 11/14, 12/12, 1/9, 2/13, 3/13

職員研修

新人職員研修会 令和7年度採用職員（新卒・中途）対象

主な対象	内容	月日	場所
1年目職員	法人の理念,業務マニュアル	4/3,4/16,11/19	ひらま
	虐待・行動制限・安全な施設運営について	5/14,5/21,11/26	ひらま
	感染症・災害・BCPについて	5/28,6/11,12/3	ひらま
	福祉職としての「仕事への意識・取り組み方	1/14,1/28	ひらま
	他事業所の先輩職員との交流	2/19,2/26	ひらま

法人内研修（階層別,職務別）

主な対象	内容	月日	場所
2年目職員	障害特性について	4/9,4/24,5/7,5/22,	ひらま
	記録について	6/18,6/26	ひらま
	利用者・家族への精神的ケア	10/15,10/30	ひらま
	障害者虐待と防止について	2/12,2/18	ひらま
3・4年目職員	法人の理念に基づく権利擁護	9/3	ひらま
	虐待防止と行動制限	9/25	ひらま
	利用者満足を考える	10/8	ひらま
	コミュニケーション,伝え方	10/29	ひらま
	福祉制度の理解	11/13	ひらま
中堅職員	薬の基礎知識について	7/30	ひらま
	後輩職員の指導について(OJTの方法等)	2/5	ひらま
サビ管	新任サビ管研修	5/15	ひらま
	脳科学に基づくコミュニケーション	7/9	ひらま
	認知症の理解について	1/21	ひらま
主任	新主任研修	4/22	ひらま
	「見られる立場」である主任のあり方	8/6	ひらま
主査	ハラスメント・クレームについて	1/15	ひらま
主任・主査	エルダー研修(新人教育について)	10/21	ひらま
管理者	エルダー研修(新人教育について)	6/10	ひらま
エルダー	エルダー研修(新人教育について)	11/27	ひらま
限定なし	コンサルテーション(事例検討)	6/12,7/3,10/23,12/2	ひらま
	インシデントプロセス法による事例検討会	11/6	ひらま
パート職員	身体拘束と行動制限について	10/28	ひらま
		11/12	ちどり
		12/4	三田福祉ホーム

安全運転講習会

主な対象	内容	月日	場所
1年目職員	運転実地,車両運転講習会	7/10,12/11	各事業所
車両担当者	運転講義	10/16	ひらま

外部研修会

業務命令及び職員の希望等により外部機関等の開催する研修会に職員派遣した。

事業別項目

<通所サービス部門>

(1) 生活介護事業

生活介護 1 事業所で、利用定員合計 428 名で障害者総合支援法に基づき事業を実施した。

事業所では、車両による利用者送迎サービス、日中活動として作業・文化・余暇・スポーツレクリエーション・給食・介護・就労支援などのサービスを提供した。

① 生活介護事業所おおしま

利用者の状況			
利用者数	29 名	定員	35 名
新規利用者数	1 名		
利用終了者数	2 名		
利用者援助の基本方針			
- 一人ひとりの人権を尊重し,利用者主体の上質なサービスを提供する。 - 支援を深める。			
送迎			
車両台数	3 台	送迎利用者数	概ね 26 名
送迎エリア	川崎区		
防火・防災訓練状況			
火災想定	8/20	猛暑の為トンボ公園ではなく 玄関へ避難	
地震・火災想定	11/11	おおしまトンボ公園へ避難	
水害時避難訓練	12/24	津波発生を想定し、上の階に逃げる練習。	
その他		車いす利用者の為の防災頭巾購入。	
大きな行事・地域交流等			
健康診断	6/10	AOI 病院の検診車を呼び,施設内での健康診断	
グループ外出	7/16～	7 班に分かれてグループで外出。 行先はラーメン博物館、フジテレビ、海ほたる、ボウリング、カップヌードルミュージアム、焼肉、みなとみらい技術館、等々	
バス旅行	6/18,26	2 班に分れ福祉バスで日帰り旅行。池袋のサンシャインシティ水族館とイタリアンランチを楽しむ旅を実施。	
おおしま GO ツアー	11/18～	5 班に分れて横浜フィッシャーマンズマーケットに行き、食事を楽しんだ。	
クリスマス会	12/19	室内でランチョンマット作り、オーナメント作り、クリスマスバージョンのお弁当、クリスマスケーキ等	
外食会	1/21～	7 班に分れ近くのお店に行きランチ。行先はジョナサン、ラーメン屋、夢庵等	
半日行事		歓迎会・かき氷デー・スイーツデー・節分の季節行事を実施。	
スペシャルランチ	3/13	キッチンカーを呼び「天井」の昼食を楽しむ。	

② わたりだ

利用者の状況			
利用者数	21 名	定員	20 名
新規利用者数	1 名		
利用終了者数	0 名		
利用者援助の基本方針			
1 人 1 人のニーズに合わせ,利用者主体のサービスを考えて,実現する。 - 利用者が「充実感」を得られるように支援する - 福祉の専門職として自信を持って仕事ができる職員になる。			
送迎			
車両台数	2 台	送迎利用者数	概ね 17 名
送迎エリア	川崎区,幸区		
防火・防災訓練状況			
総合訓練	5/15、 7/25、 3/12	地震・火災・水害(3 月)想定	
大きな行事・地域交流等			
健康診断	6/10	AOI 病院の検診車にて,施設内での健康診断	
個別外出	年 8 回	1 人年に 2 回実施。	
	実施	水族館や葛西臨海公園等希望の内容で実施。	
スイーツデイ	年5回	毎回 2 種類のデザートから好きな方を選んでデザートタイム。	
開所日	数回	スイーツ買い物,工作,選択活動等	
全体外出	11/21	送迎車 5 台にて全員でマザー牧場へ外出	
お楽しみ会(夏祭り)	8/8	ハワイをテーマに工芸、ゲーム、食事、デザートを楽しんでいる。	
バスランチ	2/20	観光バスで出かけ、中華街にてランチと散策を楽しんでいる。	

③ むぎの穂

利用者の状況			
利用者数	28 名	定員	40 名
新規利用者数	3 名		
利用終了者数	1 名		
利用者援助の基本方針			
- 利用者・ご家族が安心して利用できる施設を目指す。 - 利用者さんにあった支援を追及し、繰り返し支援の見直しを行い、上質なサービスを提供する。			
送迎			
車両台数	3 台	送迎利用者数	概ね 18 名
送迎エリア	川崎区・幸区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/20	地震を想定	
総合避難訓練	7/22,1/ 191,3/17	地震から火災を想定	
防災体験	8/15.28	横浜市防災センター見学 ・ 地震体験等	
避難訓練	11/11	水害想定避難訓練	

大きな行事・地域交流等		
夏祭り	7/18	射的やお菓子釣りなどのゲームを行い、昼食は焼きそば等楽しんだ。
調理会	年 4 回	カレーライスや鍋、餃子など昼食づくり。
スペシャル外出 (バスハイク)	10/3	福祉バス利用。東京ドイツ村に行き、園内散策 ランチを食べる
お楽しみ会	12/19	キーホルダー作り ビンゴ大会
ボーナスランチ	2/13	馬事公苑に行き、ランチを食べる
送別会	3/27	スライドで 1 年間の振り返りと、送別会
開所日	年 8 回	好きな昼食やデザートなど購入して食べる企画等、毎回実施。 この他に、年間通じて「むぎ人の旅(個別外出)」を1人年 2 回行った。

④ 生活介護事業所かせやま

利用者の状況			
利用者数	23 名	定員	40 名
新規利用者数	1 名		
利用終了者数	2 名		
利用者援助の基本方針			
・ 利用者が「安心」して利用できるサービスを提供する。 ・ より「上質なサービス提供」を目指す。 (法人の理念に基づいた施設運営を目指す。)			
送迎			
車両台数	3 台	送迎利用者数	概ね 18 名
送迎エリア	幸区・中原区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/13	地震・火災想定	
避難訓練	7/17	地震想定 模擬通報訓練	
避難訓練	9/11	落雷・火災想定	
避難訓練	11/25	地震想定 模擬通報訓練。	
避難訓練	1/27	地震・火災想定	
避難訓練	3/18	地震・火災想定	
大きな行事・地域交流等			
歓迎会	4/25	新職員の歓迎会	
かき氷会	8/26	室内でかき氷を作る	
昼食会	5/28,6/18, 9/3 11/19,1/28, 2/20	事業所で作った食事や、好きなお弁当等を購入し 食事を楽しむ	
忘年会	12/11	昼食会・室内レク	
バスハイク	9/26	福祉バスを使用し、八景島シーパラダイスに日帰り旅行	
個別ランチ	6 月～2 月	1人1回、個別(2～3 名)にて希望を聞き、外食会を実施	
おつかれさま会	3/27	デザートとお茶会、一年の活動振り返りと送別会	

⑤ 生活介護事業所ひらま

利用者の状況			
利用者数	40 名	定員	40 名
新規利用者数	1 名		
利用終了者数	2 名		
利用者援助の基本方針			
・ ひらまは利用者の皆様の「安心」を心がけてサービスを提供します。 ・ 利用されるみなさまの立場になって考え、丁寧な支援を提供します。 ・ ひとりひとりが元気で楽しく、自信をもって活動できるよう支援します。			
送迎			
車両台数	7 台	送迎利用者数	概ね 35 名
送迎エリア	幸区・中原区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/14	強震度地震を想定	
総合訓練	7/9	全館合同訓練 火災を想定	
避難訓練	11/26	垂直避難訓練	
総合訓練	1/15	全館合同訓練 火災を想定	
避難訓練	2/13	垂直避難訓練（垂直・降下体験）	
避難訓練	3/16	防災備品確認。避難災害時に使用するものの場所を把握	
大きな行事・地域交流等			
ひらままつり	7/18	ゲームコーナー・飲食店・外部のお弁当・午後は大道芸と職員出し物。家族や関係者も参加。	
ハロウィン	10/24	キッチンカー（肉井・ジェラート）・ゲーム大会・仮装を楽しんだ。	
クリスマス会	12/19	ケーキ作り・手芸・マジックショー・職員出し物	
個別外出	8～1 月	10回に分かれて実施。送迎車を使用し一日外出。	
パラアート	通年	Colors かわさき・各種まちかどパラアート展・障害者作品展・ノベルティグッズ応募への参加。販売実績あり。	

⑥ 生活介護事業所ひさすえ

利用者の状況			
利用者数	37 名	定員	57 名
新規利用者数	0 名		
利用終了者数	2 名		
利用者援助の基本方針			
・利用者の望む生活の実現を目指す。 ・利用者1人1人がその人らしい人生・生き方ができるよう、利用者が答えを出してくれる支援を目指す。 ・職員1人1人が互いを尊重し、チームとして利用者支援を行う。			
送迎			
車両台数	7 台	送迎利用者数	概ね 33 名
送迎エリア	高津区・中原区・宮前区		

防火・防災訓練状況		
避難訓練	5 月	火災想定。避難経路確認。
避難訓練	9 月	地震想定
避難訓練	11 月	地震、火災想定。避難経路確認。
避難訓練	2 月	地震想定。
外出時訓練	3 月	地震(火事)想定。
大きな行事・地域交流等		
日帰り旅行	11 月	11/6.7 の 3 日間に分かれ、ソレイユの丘に出かける。
地域交流	11/29	地域開放イベント。絵画など作品を展示,自主製品販売。
クリスマス会	12/23	デリバリーランチ
ペロッコ人形劇	12/23	日本女子大付属高等学校人形劇団クラブに来所いただき,人形劇鑑賞。

⑦ たちばな

利用者の状況			
利用者数	28 名	定員	34 名
新規利用者数	0 名		
利用終了者数	1 名		
利用者援助の基本方針			
・ 日中活動支援や社会参加活動を促し,地域の中で充実した毎日をおくれる支援を目指す。 ・ 権利擁護を最優先とし,個々に合った支援・活動を提供。			
重点目標			
・ 「支援」を最優先事項と考え,事業所運営を行う。			
送迎			
車両台数	3 台	送迎利用者数	概ね 18 名
送迎エリア	高津区・中原区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	6/27	地震・火災想定・通報訓練(総合訓練)	
避難訓練	11/28	地震・火災想定	
避難訓練	3/26	地震・火災想定・通報訓練(総合訓練)	
避難経路訓練	5/7 ,	水害想定、避難経路確認	
	8, 9		
大きな行事・地域交流等			
クリスマス会	12/19	昼食デリバリーと事業所内レクリエーション	
日帰り旅行	10/2	鈴鹿かまぼこの里での揚げかまぼこづくり体験	
	10/8		
・ その他,個別外出を 1 人年 1 回実施。 ・ ランチ会・クラブ活動も定期的に実施 ・ 地域交流の 1 つとして,公園清掃を月 1 回実施。また、年 2 回バザーを開催。			

⑧ ちとせ

利用者の状況			
利用者数	34 名	定員	40 名
新規利用者数	1 名		
利用終了者数	3 名		

利用者援助の基本方針			
- 法人の理念に沿って利用者主体のサービスを提供する。 - 障害特性に応じた個別プログラムを提供する。 - 個別のニーズを知り、利用者の望む生活の実現に近づける支援をする。			
送迎			
車両台数	4 台	送迎利用者数	概ね 23 名
送迎エリア	高津区・宮前区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/15	水害想定	
避難訓練	8/22	総合訓練 図上訓練 通報訓練	
避難訓練	11/20	地震想定	
避難訓練	2/24	火災想定	
大きな行事・地域交流等			
個別外出 品川水	6/30	行先希望アンケートを取り、個別で外出	
族館・羽田空港	7/2		
クリスマス会	12/18	外食会と事業所でクリスマス会	
新年会	1/17	家族交流会	

⑨ すえなが

利用者の状況			
利用者数	30 名	定員	40 名
新規利用者数	0 名		
利用終了者数	2 名		
利用者援助の基本方針			
- 支援の個別化の充実 - 虐待防止・権利擁護を最優先とした支援の共有と提供 - 安心して過ごせる環境整備の促進			
重点目標			
基本方針に基づく上質なサービスを提供出来るよう,職員の資質向上を目指す。			
送迎			
車両台数	3 台	送迎利用者数	概ね 20 名
送迎エリア	高津区・宮前区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/28	地震想定	
避難訓練	7/23	火災想定	
避難訓練	9/24	水害想定	
避難訓練	11/20	火災想定	
総合避難訓練	1/29	地震想定による避難・通報	
総合避難訓練	3/24	火災想定による消火・避難・通報	

大きな行事・地域交流等		
個別外出	毎月1グループ	1人年1回 行き先:動物園、遊園地、フルーツ狩り、ロングドライブ等
ランチ会	毎月1グループ	1人年1回 午前中に実施 行き先:オリーブの丘、和食レストラン、蕎麦屋、ハンバーグ店等
茶話会	12/26	AM 大掃除を実施。午後からお菓子和飲み物を提供し1年を振り返った。
新年会	1/5	神社初詣と書初め。
・ 地域交流…地域清掃を定期的実施 ・ パラアート…Colors かわさき・各種まちかどパラアート展に参加		

⑩ あかね

利用者の状況			
利用者数	50 名	定員	47 名
新規利用者数	1 名		
利用終了者数	2 名		
利用者援助の基本方針			
・ 1 人の大人として個性を尊重し,1 人 1 人に寄り添った支援を行います。 ・ 職員間では連携を大事にし,支援計画に沿った支援を提供いたします。 ・ 法人の理念を理解し実践できる職員集団を目指します。			
送迎			
車両台数	7 台	送迎利用者数	概ね 50 名
送迎エリア	多摩区・麻生区・宮前区		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/26	地震を想定(1・2 階)	
避難訓練	7/17	火災を想定(1・2 階)	
避難訓練	9/16	地震を想定(1・2 階)	
避難訓練	11/21	地震を想定(1・2 階)	
避難訓練	1/29	火災を想定(1・2 階)	
避難訓練	3/12	総合訓練(1・2 階)	
避難訓練	3/14	水害時想定、備蓄品の確認(職員のみ)(1・2 階)	
大きな行事・地域交流等			
あかねまつり	11/6	1 階・2 階合同で行い,昨年同様に利用者出し物,仕出し弁当を注文して楽しんだ。昨年度同様、外部の方々の参加は少なめだった。	
個別外出	前期 6～9 月 後期 12～2 月	1 人年 2 回。前期・後期共に利用者からアンケートを取り,希望の場所を決め実施。	
グルメ旅行	6/25・ 7/10・ 18	横浜関内にある「ダイワロイネットホテル横浜公園 アクイラ・ウォランズ」にて食事。福祉バス+民間バスで 3 回に分かれて食事を楽しんだ。	
クリスマス会	12/13	ボランティア演奏会・職員催し物・ビンゴ・ハンバーガーセット・ケーキでクリスマスを楽しむ。	
新年会	1/17	疑似餅つき・お祓い・職員かくし芸で正月気分を演出した。	
茶ちゃっと会	3/31	PM 開催。お菓子と飲み物,1 年間の写真をスライドショーで鑑賞し1 年を振り返り、次年度のオリエンテーションを行った。	

⑪ なしの実

利用者の状況			
利用者数	32 名	定員	35 名
新規利用者数	0 名		
利用終了者数	1名		
利用者援助の基本方針			
- 法人の理念を遂行しつつ,表面に見えていることだけにとらわれず,その人の本質(魅力的な部分や長所)を見る目を持つことを大切に考えていく。 - 利用者さんの気持ちに寄り添うことをテーマに,接遇力を上げることをチーム目標としています。			
送迎			
車両台数	5 台	送迎利用者数	概ね28名
送迎エリア	多摩区・麻生区・宮前区の一部		
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/12	地震想定	
避難訓練	7/14	火災想定	
総合訓練	9/8	火災想定	
避難訓練	11/10	地震想定	
避難訓練	1/13	火災想定	
総合訓練	3/9	地震想定	一時避難場所の確認、避難
大きな行事・地域交流等			
日帰り旅行	9 月	ロマンスカーで小田原へ行き、食事と買い物を楽しむ	
個別外出	10～11 月	東京駅, かわすい水族館, モザイクモール等	
クリスマス会	12/5	クリスマス亭にてクリスマスランチ	
新年会	1/17	神社初詣と書初め。	

(2) 就労支援事業

障害福祉施設おおしま（川崎区大島 4 丁目）内の「就労支援事業所おおしま」で、障害者総合支援法に基づく就労継続支援 B 型を定員 20 名で実施した。

① 就労支援事業所おおしま

利用者の状況			
利用者数	22 名	定員	20 名
新規利用者数	1 名		
利用終了者数	1 名		
利用者援助の基本方針			
- 利用者ひとりひとりの気持ちを大切に、生産活動などを通じて社会での充実した活躍をサポート。 - 施設内外の協力体制や地域との連携で、利用者が望む生活を送れるようサポート。			
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/21	火災想定	
避難訓練	9/18	地震による火災を想定	
避難訓練	11/27	地震想定	
避難訓練	3/12	地震による火災を想定した総合訓練	

大きな行事・地域交流等

8/22 新年会（お台場マダムタッソー蠟人形館見学とランチビュッフェ）

1/17 新年会（ボウリングと外食に分かれての活動）

(3) 給食（配食）サービス事業

「ひらま」「ちとせ」「すえなが」の3事業所で各事業所への配食サービスを実施した。

「ひらま」は「かせやま」「むぎの穂」「おおしま」「就労おおしま」へ、「ちとせ」は「たちばな」「ひさすえ」へ、「すえなが」は「あかね」「なしの実」へ保冷車で昼食を配送した。

<地域生活支援部門>

(1) 短期入所事業

短期入所2事業所で、障害者総合支援法に基づき事業を実施した。

① ライブリー

短期入所を利用定員10名、日中短期入所は利用定員5名で実施した。短期入所定員10名のうち2名は「川崎市障害者(児)緊急短期入所ベッド確保事業要綱」に基づく緊急入所定員とした。

事業所では短期宿泊及び日中活動のサービスを提供した。給食については業務委託を行い利用者に提供した。昼食は生活介護事業所わたりだの利用者等にも提供した。

1. 利用者の状況(利用宿泊数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	同昨年
宿泊	男	77	87	80	85	82	70	90	83	68	83	96	86	987	2.7	2.5
	女	74	77	69	70	76	57	72	65	66	85	79	76	866	2.4	2.8
	計	151	164	149	155	158	127	162	148	134	168	175	162	1,853	5.1	5.4
内緊急枠		0	7	15	24	7	9	14	3	12	31	29	14	165	0.5	0.6
日中		15	13	14	14	24	13	14	22	16	12	17	17	191	0.5	

2. 障害程度区分別割合(%) ※児童1.2.3は児童の障害程度区分

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし	児童1	児童2	児童3	児童区分なし	合計
0.0	1.4	7.5	15.2	28.4	47.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

3. 地区別割合(%)

川崎	大師	田島	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	市外	合計
32.2	4.2	7.1	18.3	6.2	14.8	3.6	9.2	4.7	0.0	100.0

4. 宿泊利用集計

延べ人数	615
個人数	107
平均宿泊数	173

利用者援助の基本方針	
①サービス計画, ケース記録に基づいた職員の統一した対応	
②選択肢を設けた充実したプログラムの提供	
③事故の再発予防	
④安全・安心と人権に配慮した支援	
防火・防災訓練状況（実施月日・内容）	
5月	・水害避難訓練(大雨による浸水被害想定) 安全な場所への避難訓練 ※職員が利用者役となった、シミュレーション訓練の実施。
7月	・総合避難訓練(地震後の火災発生想定) 安全な場所への避難訓練 ※避難階段を使つての利用者避難誘導訓練 ※消防署員立ち合いにて実施
12月	・総合避難訓練(夜間の火災想定) 安全な場所への避難訓練 ※職員が利用者役となった、シミュレーション訓練の実施。
3月	・水害避難訓練(大雨による浸水被害想定) 安全な場所への避難訓練 ※職員が利用者役となった、シミュレーション訓練の実施。

② 短期入所事業所ひらま

短期入所を利用定員 12 名で実施した。事業所では短期宿泊及び日中活動のサービスを提供した。給食については朝食・昼食は生活介護事業所ひらまの配食サービスを利用し、夕食については外部の配食サービスを利用した。

1. 利用者の状況(利用宿泊数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
男	177	178	190	181	202	185	186	203	185	186	167	187	2,227	6.1
女	127	128	132	148	143	132	124	132	136	129	142	132	1,605	4.4
計	304	306	322	329	345	317	310	335	321	315	309	319	3,832	10.5

2. 障害程度区分別割合(%) ※児童 1.2.3 は児童の障害程度区分。

区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	児童 1	児童 2	児童 3	合計
0.0	0.8	4.0	13.0	30.9	47.7	0.0	0.6	3.0	100.0

3. 地区別割合(%)

川崎	大師	田島	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	市外	合計
6.6	2.3	1.8	33.2	23.8	18.2	6.2	7.7	0.2	0.0	100.0

4. 宿泊利用集計

延べ人数	3,832
実人数	173
平均宿泊数	22.2

利用者援助の基本方針	
①利用者個々の人格・人権を尊重した支援を行う。	
②サービス計画に基づいた職員の統一した支援を行う。	
③選択肢を設けた自己決定が可能な活動を提供する。	
④事故防止及び再発防止に努める。	

防火・防災訓練状況

4 月	夜間避難訓練
5 月	夜間避難訓練
7 月	全館合同避難訓練
9 月	昼間避難訓練・日中一時合同避難訓練
11 月	水害全館合同避難訓練
12 月	夜間避難訓練
1 月	全館合同避難訓練
3 月	館内防災設備自主点検,BCP災害訓練

(2) 相談支援事業

地域相談支援センター 2 事業所で、地域で生活する障害者及び家族等の相談に応じ、各種サービスの利用援助・調整などを通じて地域生活に必要な支援等を行う計画・地域移行の事業を実施した。

また、相談交流ひらまでは指定特定相談支援事業所として、一般相談支援及び計画相談支援を実施した。

地域相談支援センタードルチェは令和 7 年度末をもって委託契約を終了し廃止した。

① 地域相談支援センター ラルゴ

生活介護事業所「かせやま」内に事業所を置き、相談支援専門員 3 名で、幸区における計画・地域移行等の相談支援を行った。

利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
訪問	42	44	61	59	44	55	42	45	63	48	58	67	628
来所	10	3	14	16	9	8	11	11	11	10	14	10	127
同行	29	14	11	18	15	21	15	19	14	18	18	18	210
個別支援会議	0	3	3	4	1	3	2	2	3	3	6	2	32
計画書作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

② 地域相談支援センター ドルチェ

多摩区宿河原駅前に事業所を置き、相談支援専門員 2 名で多摩区における計画・地域移行等の相談支援を行った。

利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
訪問	42	47	43	47	50	45	39	30	35	29	36	42	485
来所	5	13	9	6	4	11	8	2	6	4	6	10	84
同行	14	20	18	18	19	14	18	22	26	24	20	15	228
個別支援会議	3	7	2	2	1	4	3	4	5	3	1	2	37
計画書作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③ 相談交流ひらま

なかはら障害福祉施設ひらま内に事業所を置き、専門相談員 2 名で中原区における計画相談支援を行った。

相談対象者

		障害者	障害児
実人員(人)		212	0
延べ相談件数	身体障害	3	0
	重症心身障害	122	0
	知的障害	792	0
	精神障害	2	0
	発達障害	0	0
	高次脳機能障害	1	0
	その他	15	0
	計	935	0

支援内容

内容	件数
生活支援見守り	123
健康・医療	28
余暇活動等	8
子育て	0
不安解消	17
対人関係	9
ボランティア・研修に関する情報提供等	2
権利擁護	0
関係機関等との連絡調整・支援	123
福祉サービス	145
上記のうち緊急短期入所の件数	39
計画相談支援・地域相談支援	384
災害時個別避難計画の作成件数	1
その他	56
計	935

支援方法		件数
訪問	家庭	51
	関係機関	205
面接(来所)		51
同行		1
電話等相談		586
その他		41
計		935

対応時間帯	件数
日中	922
夜間	13
休日	0
計	935

(3) 地域生活支援事業

① とも移動支援等事業所

「かせやま」内に事業所を置き、障害福祉サービスの行動援護、川崎市の地域生活支援事業の移動支援及びあんしんサポートをヘルパー14名・他事業所職員3名で実施した。主に土曜・休日の外出余暇活動による社会参加への支援や自宅での家事援助・見守りなどの生活支援サービスを提供した。

ヘルパーのスキルアップとして行動援護従事者養成研修の受講を奨励した。

利用ニーズが増えている一方、ヘルパーは慢性的に不足し、対応しきれていない状況が続いている。

利用状況

月	項目	利用の内容			個人数計 (否重複)
		行動援護	移動支援	合計	
4月	件 数	9	16	25	23 人
	延べ時間	57	93	150	
5月	件 数	8	18	26	24 人
	延べ時間	50.5	105	155.5	
6月	件 数	8	16	24	21 人
	延べ時間	49.5	88.5	138	
7月	件 数	8	16	24	22 人
	延べ時間	51.5	87.5	139	
8月	件 数	7	15	22	20 人
	延べ時間	46.5	89.5	136	
9月	件 数	8	17	25	24 人
	延べ時間	52.5	95	147.5	
10月	件 数	8	18	26	23 人
	延べ時間	56.5	103.5	160	
11月	件 数	7	19	26	25 人
	延べ時間	48.5	114	162.5	
12月	件 数	6	17	23	25 人
	延べ時間	56	96.5	152.5	
1月	件 数	8	18	26	23 人
	延べ時間	57	99.5	156.5	
2月	件 数	8	16	24	23 人
	延べ時間	55.5	100.5	155.5	
3月	件 数	8	16	24	22 人
	延べ時間	55.5	97.5	153	
合計	件 数	93	202	295	275 人
	延べ時間	636.5	1170	1806	

② 日中一時支援事業所「ひらま」

なかはら障害福祉施設ひらま内に事業所を置き、利用定員 10 名で川崎市日中一時支援（障害児・者一時預かり）事業実施要綱に基づき事業を実施した。

主に夕方支援を中心にサービスを提供した。

1. 利用者の状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
男	19	18	24	21	27	22	24	17	20	23	20	27	262	21.8
女	50	53	55	59	47	50	57	46	55	48	43	58	621	51.8
合計	69	71	79	80	74	72	81	63	75	71	63	85	883	73.6

2. 利用者の状況(曜日別)

	月	火	水	木	金	合計
男性	3	2	2	2	2	11
女性	3	3	3	3	3	15
合計	6	5	5	5	5	26

3. 利用者の状況(障害程度区分別) ※児童 1.2.3 は児童の障害程度区分。

区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	児童 1	児童 2	児童 3	合計
0	0	0	1	4	6	0	0	0	11

利用者援助の基本方針	
・ 日中支援事業所との連携や情報の共有を図り,利用者への日常生活上の支援を行うとともに,夕方から夜間にかけての時間帯といった特性から,負担の少ない活動や内容の選択できる活動を提供する。 ・ 日中一時支援計画を作成し,それに基づき支援を行う。また既に支給決定を受けているサービスに支障をきたさないよう配慮する。	
防火・防災訓練状況	
6 月	昼間避難訓練
7 月	全館合同避難訓練
9 月	昼間避難訓練
11 月	水害全館合同避難訓練
12 月	昼間避難訓練
1 月	全館合同避難訓練
3 月	昼間避難訓練・BCP 災害訓練
大きな行事・地域交流等	
花見(4 月) 暑気払い(6 月) 七夕(7 月) 花火大会(8 月) ハロウィン・かかし作り(10 月)	
芋ほり(11 月) クリスマス会(12 月) 新年会(1 月) バレンタイン(2 月) 茶話会(3 月)	
COLORS 出展作品作成(10 月作成)川崎市障害者作品展(12 月作成)	

(4) 障害者生活支援・地域交流事業

① 相談交流ひらま

関係機関や地域住民と連携し「相談交流ひらま」において,障害特性を踏まえて社会適応力や生活力を高めるための支援を行うとともに,地域住民によるボランティアを育成し,協働することで,障害者等の地域生活支援の担い手の充実を図る取り組みとして,(ア) ボランティア育成事業 (イ) パラアート活動事業 (ウ) 地域開放事業 (エ) 情報配信事業 (オ) 地域・機関との連携などを行った。

(ア) ボランティア協働事業

日程	対象者	内容		参加人数
毎週木曜日	地域・生活 介護ひらま	菜園活動	収穫・食事会・焼芋会・野菜無人販売を実施。地域ボランティアの育成、引きこもりケースの活動場所。	143 人
	地域	さをり織り	自由に使用して施設活動に参加	7 人
	地域	講演会セミナー	「障がいのある人のきょうだいに対する支援の必要性とその支援」	22 人

(イ) パラアート活動事業

パラアート・交流事業（ダンス）

日程	内容	参加人数
毎週火曜日	ダンス教室 障害者,地域住民の参加,MsTAPFACTORY に講師依頼	808 人
11/29	ダンスイベント 手をつなぐフェスティバル	
12/13	ダンスイベント 平間公園なかよしフェスティバル	

パラアート・交流事業（絵画教室）

日程	内容	対象者	参加人数
4 月,5 月 6 月,7 月 8 月,9 月 10 月,11 月 12 月,1 月 2 月 月 1 回 土曜日	アトリエ教室 Studio FLAT, はなうた 図工 室,林明水,ココット,石井志保	地域 施設利用者	238 人
毎月	アトリエひらま作品展示(絵画・折り紙作品)	利用者	
7/11～16	つながるアート展	利用者	
11/13～24	Colors かわさき	利用者	
12/10～14	川崎市障害者作品展	利用者	

パラアート・交流事業（演劇・人形劇）

日程	内容	対象者
月 1 回～2 回	人形劇 にこにこあおむし人形劇団 洗足学園音楽大学講師	かぜやま
12/21	ホスピタルシアター 多感覚演劇,シアタープランニン グネットワーク	地域

(ウ) 施設開放事業

対象者	内容
ともかわさき事業所・各団体	会議室・体育室貸出 ともかわさき事業所・ダンス教室・アトリエ教室,地 域活動団体・川崎市への貸出

(エ) 情報発信事業

内容	
SNS 配信	情報配信・告知
ともかわさきニュース	毎月,HP掲載(ともかわさきのパラアート活動など)

(オ) 地域・機関との連携

内容	対象者
イベント協力 鹿島田商店街(ハロウィンかし)	地域
食糧支援 SOS 事業(市社協)	地域

＜居住支援部門＞

(1) 共同生活援助事業

とも共同生活事業所

とも共同生活事業所として7グループホームで、定員合計 34 名で障害者総合支援法に基づき事業を実施した。

世話人及び生活支援員が交代で業務を行い、食事の提供や日常の身辺支援、通院同行などを行った。

支援にあたっては、入居者の自主性・自立性を尊重するとともに、障害特性に配慮しながら、必要な支援を提供するよう努めた。

名 称	グループホーム なんぺい		
設 置	平成 12 年 9 月	所在地	宮前区南平台 16-15-401.402.301
利用定員	女性 4 名,現員 4 名		
入居者	平均年齢 52.3 歳	就労先	福祉施設 3 名,一般就労 1 名
名 称	グループホーム なかのしま1		
設 置	平成 28 年 3 月	所在地	多摩区中野島 4-20-8 1階
利用定員	男性 5 名,現員 5 名		
入居者	平均年齢 49.0 歳	就労先	福祉施設 5 名
名 称	グループホーム なかのしま2		
設 置	平成 28 年 3 月	所在地	多摩区中野島 4-20-8 2階
利用定員	女性 5 名,現員 5 名		
入居者	平均年齢 50.0 歳	就労先	福祉施設 5 名
名 称	グループホーム なかのしま3		
設 置	令和 2 年 3 月	所在地	多摩区中野島 6-6-13 1階
利用定員	男性 5 名,現員 5 名		
入居者	平均年齢 40.8 歳	就労先	福祉施設 5 名
名 称	グループホーム なかのしま4		
設 置	令和 2 年 3 月	所在地	多摩区中野島 6-6-13 2階
利用定員	男性 5 名,現員 5 名		
入居者	平均年齢 46.6 歳	就労先	福祉施設 5 名
名 称	グループホーム なかのしま5		
設 置	令和 3 年 3 月	所在地	多摩区中野島 6-6-14 1階
利用定員	女性 5 名,現員 5 名		
入居者	平均年齢 45.8 歳	就労先	福祉施設 5 名
名 称	グループホーム なかのしま6		
設 置	令和 3 年 3 月	所在地	多摩区中野島 6-6-14 2階
利用定員	女性 5 名,現員 5 名		
入居者	平均年齢 41.8 歳	就労先	福祉施設 5 名

利用状況（宿泊延回数）

入居者		月												合計 (日)	月平均 (日)	利用率 (%)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
なん べい	A/区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100.0
	B/区分5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100.0
	C/区分3	30	31	30	31	31	30	31	29	31	31	28	31	364	30.3	99.7
	D/区分4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100.0
なか の しま 1	A/区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100.0
	B/区分5	17	22	22	22	20	21	23	19	19	19	17	18	239	19.9	65.5
	C/区分4	19	19	20	22	21	19	22	19	20	19	24	20	244	20.3	66.8
	D/区分5	21	21	20	22	20	19	22	19	20	19	17	14	234	19.5	64.1
	E/区分4	0	0	26	28	28	27	29	25	25	26	26	28	268	22.3	73.4
なか の しま 2	A/区分5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100.0
	B/区分4	25	24	25	21	24	23	26	19	23	21	23	24	278	23.2	76.2
	C/区分4	30	31	30	31	27	28	31	30	29	27	28	31	353	29.4	96.7
	D/区分3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100.0
	E/区分3	21	22	20	27	22	20	21	21	21	19	19	21	254	21.2	69.6
なか の しま 3	A/区分5	21	21	20	17	20	19	22	19	20	22	21	25	247	20.6	67.7
	B/区分4	30	30	30	30	31	29	31	30	31	31	28	31	362	30.2	99.2
	C/区分4	30	30	30	30	31	30	31	30	27	26	27	31	353	29.4	96.7
	D/区分4	20	21	20	22	21	19	22	19	20	20	22	31	257	21.4	70.4
	E/区分3	21	22	20	22	21	19	22	17	20	19	19	22	244	20.3	66.8
なか の しま 4	A/区分6	30	31	28	29	31	30	31	28	28	28	26	28	348	29.0	95.3
	B/区分4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100.0
	C/区分4	30	31	30	31	29	10	21	30	31	31	28	31	333	27.8	91.2
	D/区分4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100.0
	E/区分4	26	30	27	24	31	30	31	25	27	29	26	31	337	28.1	92.3
なか の しま 5	A/区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	28	31	28	31	362	30.2	99.2
	B/区分5	17	18	16	14	18	16	19	16	16	15	15	14	194	16.2	53.2
	C/区分4	21	22	20	22	13	19	21	19	21	19	17	19	233	19.4	63.8
	D/区分4	21	21	20	22	17	15	22	19	20	19	19	21	236	19.7	64.7
	E/区分4	18	23	21	24	21	22	26	25	27	23	23	25	278	23.2	76.2
なか の しま 6	A/区分5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100.0
	B/区分4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100.0
	C/区分4	19	17	20	21	17	19	21	18	19	16	16	16	219	18.3	60.0
	D/区分3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100.0
	E/区分5	21	21	20	22	5	20	22	19	17	19	17	15	218	18.2	59.7
合計		848	880	875	906	871	844	919	855	881	870	822	899	10,470	872.5	2868.5

防火・防災訓練状況		
なんぺい	9/4	消防用設備等点検実施
	3/10	消防用設備等点検実施
	10/8	防火対象物立入検査実施。
なかのしま1・2	9/4	消防用設備等点検実施
	3/10	消防用設備等点検実施
	3/23	防災訓練実施
なかのしま3・4	9/4	消防用設備等点検実施
なかのしま5・6	3/10	消防用設備等点検実施
	3/23	防災訓練実施
	7/10	防火対象物立入検査実施

(2) 福祉ホーム（指定管理事業）

三田福祉ホーム

三田福祉ホームの指定管理者として利用定員 10 名、職員 5 名で「三田福祉ホームの管理に関する基本協定書」に基づき第 4 期指定管理期間（令和 3 年 4 月から令和 8 年 3 月）の 5 年目のホーム運営を行った。

令和 7 年度末をもって指定管理を終了した。

利用者援助の基本方針

- ①人権を尊重し、信頼関係を築く。
- ②健康に留意して日常生活の充実を図り、安心、安全に就労が継続できるよう支援する。
- ③後見人、障害担当、支援センター、就労先等との連絡を密にし生活しやすい場を提供する。

利用者の年令と障害程度区分の状況

	人数	年 令						障害程度区分			
		～25 歳	～30 歳	～40 歳	～50 歳	51 歳 ～	平均 年齢	A1	A2	B1	B2
男性	1	0	0	0	0	1	50.6	0	0	0	1
女性	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	0	1	50.6	0	0	0	1

利用者の就労状況

一般就労	1
福祉的就労	0
その他（就労先未定）	0
合 計	1

担当保健福祉センター

麻生	多摩	宮前	中原	大師	田島
0	0	0	0	0	1

防火・防災訓練状況

消防用設備等点検	9/10,2/17
防火対象物立入検査	7/26

＜法人事務部門＞

(1) 法人本部事業

なかはら障害福祉施設ひらま内に法人事務局を置き法人の運営管理等を行った。

(2) 地域福祉施設管理事業（市管理運営委託）

① 会議室管理運営受託

- ・ 地域福祉施設ちどり（高津区久本）の会議室管理運営受託者として事務局分室を置き会議室の管理運営を行った。

年間利用回数 567 回、年間利用人数 6,938 人

利用日 月曜日～土曜日（第 2・第 4 日曜日の午前・午後、夜間利用；月水金）

- ・ 高津消防署立入り検査が 6/9 実施され、指摘事項等 9/8 対策完了した。
消防設備自主点検 9/9、2/27 実施。ちどり消防訓練（総合訓練）を 3/6 実施。

(3) 地域福祉活動援助事業

事務局分室において次の事業を支援・実施した。

① 障害者ふれあい製品振興事業

販売活動

- ・ 川崎信用金庫展示即売「ふれあい市場」を 5/17、10/18 開催
- ・ JR 武蔵溝ノ口駅南北自由通路展示即売「ふれあいバザール溝ノ口」を 11/14 開催
- ・ JR 武蔵溝ノ口駅南北自由通路展示即売「KAWASAKI 産 SUN フェスティバル」を 6/19、12/18、3/5 開催（市、分室、障施協、障作連の実行委員会開催）

製品展示

- ・ 川崎県民センター、市本庁舎かわさき情報プラザ、小田銀座商店街マイコミュニティセンター（販売含む）で常設展示、川崎アゼリア広報コーナーで「心のふれあい製品展」（2/13～20）を実施

広報活動

- ・ 製品カタログ「HEART&HAND」を作成配布
- ・ 川崎市ふれあい製品ホームページ（製品カタログ、情報掲載）を開設

② 心身障害者(児)保護者団体運営費補助事業

- ・ 福祉啓発事業（知的障害児者研修事業）を 11/5 に実施
- ・ 学齢障害児地域活動事業

③ 心身障害児（者）地域活動事業（市委託事業）

- ・ 知的障害児（者）対象：生活訓練事業（緑陰訓練、海水訓練）
知的障害者本人部会活動事業
- ・ 自閉症児（者）対象：体育訓練・生活指導訓練
- ・ 肢体不自由児（者）対象：生活指導訓練

(4) 団体等補助・支援事業

事務局分室において次の事業を支援・実施した。

- ・ 川崎市育成会手をむすぶ親の会・川崎市自閉症協会・川崎市肢体不自由児者父母の会の活動事業費補助（市運営事業補助）
- ・ 川崎市育成会手をむすぶ親の会事務局を分室で支援
- ・ 川崎市心身障害児者福祉大会(6/28 開催)実行委員会事務局

(5) 法人の地域における公益的取組

社会福祉法人の公益的取組として、①地域生活支援 SOS かわさき事業の「食糧支援かわさき」の食糧保管拠点として協力した。②パラアート振興基金を中心に市内で「まちかどパラアート展」の開催などパラアート活動に取り組んだ。

まちかどパラアート展 2025

日程	開催場所	観覧人数
4/4	夢見ヶ崎動物公園（幸区北加瀬）	130 人
5/14	洗足学園前（高津区久本）	2000 人
8/1	多摩区総合庁舎（多摩区登戸）	50 人
10/25	宮前市民館ギャラリー（宮前区宮前平）	100 人
11/9	N E C 玉川ルネッサンスシティ（中原区下沼部）	100 人
3/18	中原区役所前（中原区小杉町）	30 人

参考資料

令和 7 年度 職員数（令和 8 年 3 月 31 日）

事業所名		常勤	非常勤	合計
生活介護	生活介護事業所おおしま	12	4	16
	わたりだ	10	1	11
	むぎの穂	9	2	11
	生活介護事業所かせやま	10	3	13
	生活介護事業所ひらま	16	8	24
	ひさすえ	15	6	21
	ちとせ	10	7	17
	たちばな	11	5	16
	すえなが	11	5	16
	あかね	19	9	28
	なしの実	14	6	20
	給食	3	15	18
就労支援	就労支援事業所おおしま	5	1	6
短期入所	ライブリー	15	2	17
	短期入所事業所ひらま	17	0	17
日中一時支援事業所ひらま		2	0	2
移動支援等事業所		1	12	13
相談支援	ラルゴ	3	0	3
	ドルチェ	2	1	3
	相談交流ひらま	2	0	2
居住系	三田福祉ホーム	3	2	5
	とも共同生活事業所	22	9	31
事務部門	法人本部・事務局	6	2	8
	事務局分室/ちどり	1	3	4
合 計		219	103	322

※ 兼務の場合は,主事業所に計上

付属明細書

「社会福祉法」第 45 条の 27 第 2 項及び社会福祉法施行規則」第 2 条の 25 第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。